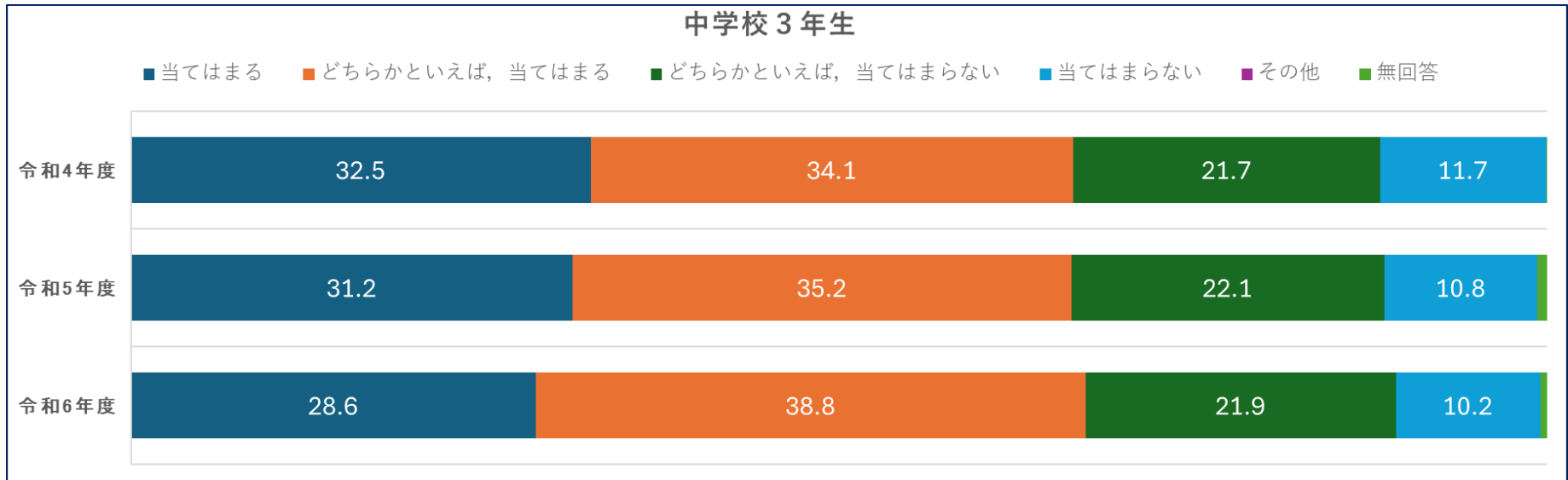
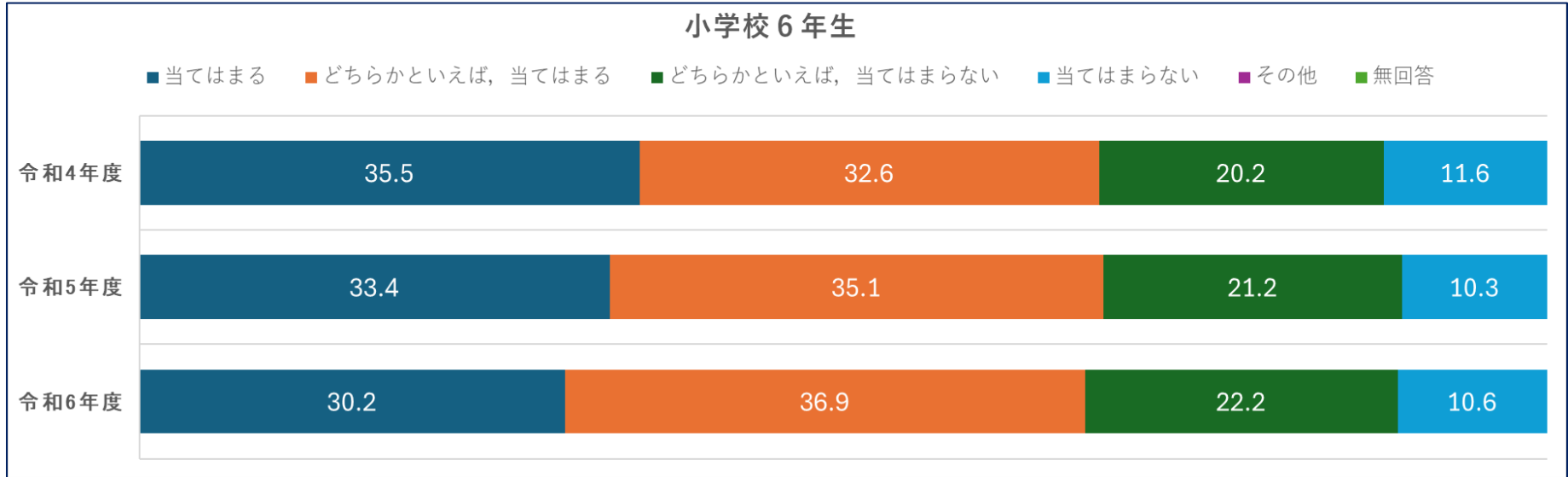


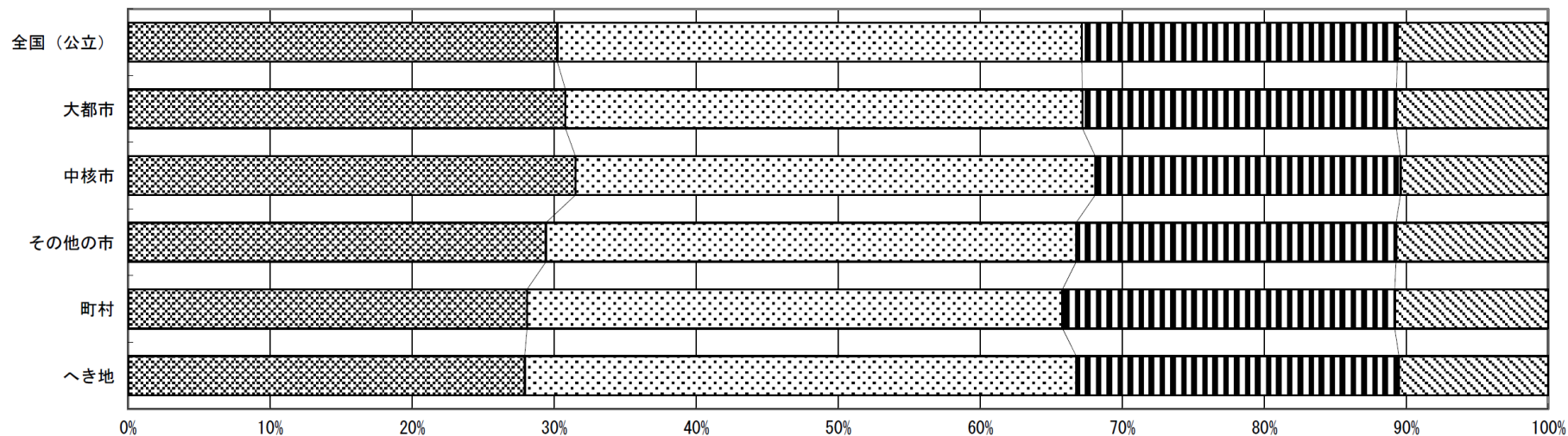
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



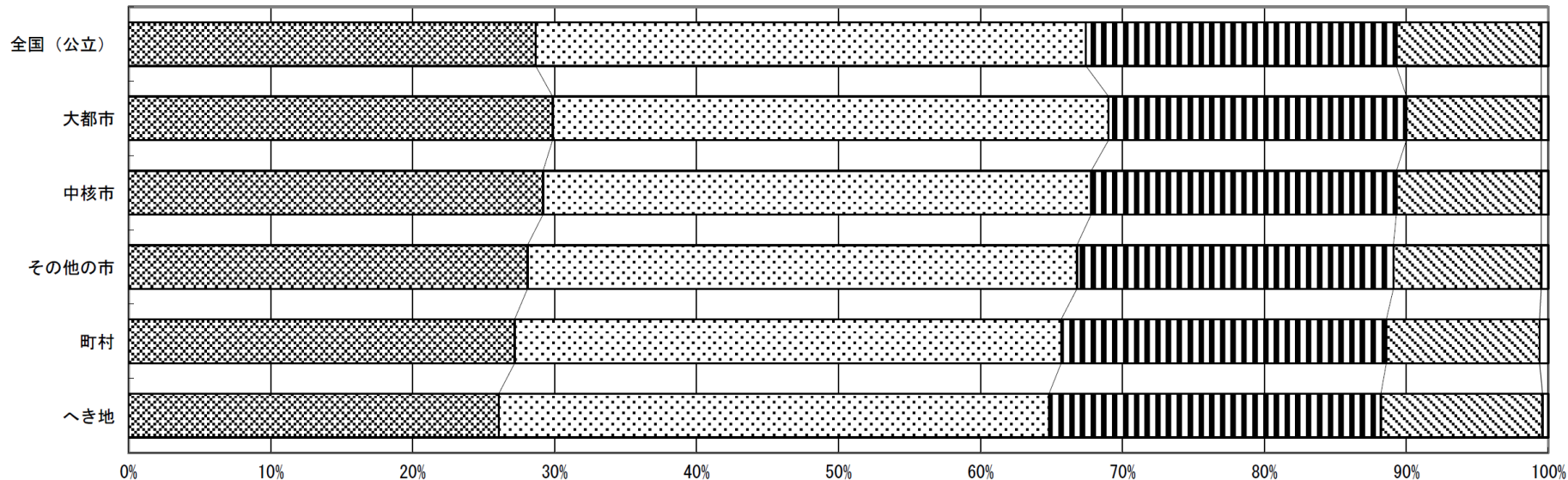
(国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査結果」より作成)

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

小学校6年生



中学校3年生



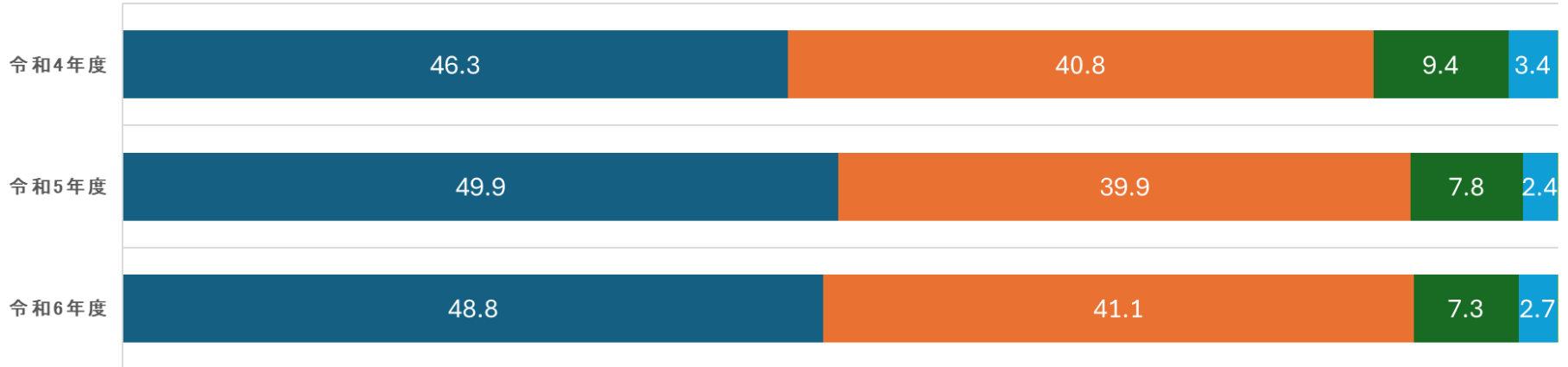
1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
 4. 当てはまらない
 その他
 無回答

（国立教育政策研究所「令和6年度全国学力・学習状況調査結果」より）

先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか

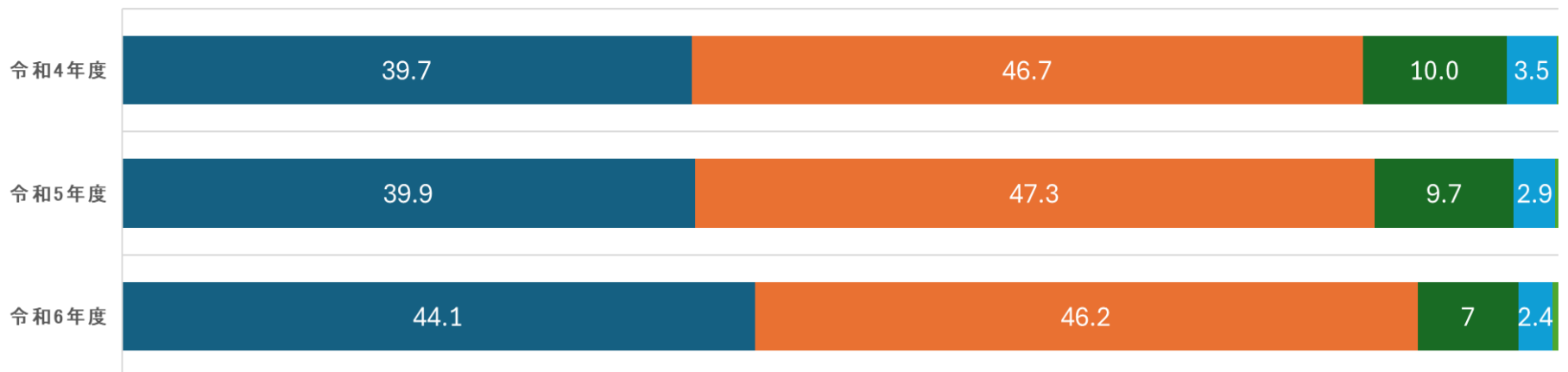
小学校 6 年生

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答



中学校 3 年生

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答



(国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査結果」より作成)

令和4～6年度の質問項目

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

- ・ 「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」という否定的回答をした小学校6年生、中学校3年生が、全国で**約3割**である。(3年間ほぼ同じ割合)
- ・ この傾向は、大都市、中都市、その他の市、町村、へき地でも同傾向であり、**どちらかというとし町村の規模が小さい方が、否定的回答が多い状況**である。
→小規模校だから、児童生徒が、先生に相談しやすいと思っている状況であるとは言えないことを認識する必要がある。

○一方で、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対しては、小学校6年生、中学校3年生の約9割が、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しており、そういう状況であるにもかかわらず、上記のような回答となっていることを認識する必要がある。

○どの児童生徒が、どういう回答をしているかについては、学校では結果の数値データを分析しなければ、すぐには分からないので、**各学校で、各児童生徒の回答状況を確認**して、一人一人の思いを把握することが求められる。